



第七中学校

校長 柏木 圭子

よろしく願いいたします

校長 柏木 圭子

令和5年度が始まりました。地域の皆様、保護者の皆様と力を合わせ、さらに本校を発展させられるよう全力を尽くします。どうぞよろしく願いいたします。

中学校生活は3年間という短い期間ですが、大人への第一歩を踏み出す重要な時期です。生徒たちが、これからの長い人生を、力強く、希望をもって幸せに生きていくための基礎を第七中学校で身につけさせたいと考えます。そのために自分で考え、進んで行動できる人、思いやりの心をもった人を育成してまいります。

4月6日に始業式、7日には入学式を行いました。新入生136名を迎え、生徒数は415名になりました。落ち着いた態度、明るい表情の生徒たちと、信頼できる教職員とともに、第七中学校で教育活動を行えることに誇りと喜びを感じています。

本校の教育目標、目指す学校像、目指す生徒像、目指す教師像は以下のとおりです。この目標を目指し、日々の教育活動を行っていきます。地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

《学校の教育目標》

- 進んで学ぶ人
- 思いやりのある人
- 心身を鍛える人

《目指す学校像》

- 確かな学力を身に付けさせる学校
- 心身ともに健やかな生徒を育てる学校
- 生徒、保護者、地域から信頼される学校

《目指す生徒像》

- 目標をもち、自ら進んで学習に取り組む生徒
- 心身ともに健康で、自らの課題に一生懸命に取り組む生徒
- 礼儀や思いやりを大切に、規律ある行動ができる生徒

《目指す教師像》

- 授業改善に向け、日々研究、実践に努める教師
- 生徒一人ひとりを理解し、温かな気持ちをもって生徒の健全育成に努める教師
- 教育公務員としての自覚と誇りをもって職務に励む教師

入学式

4月7日（金）、入学式を挙行いたしました。新入生呼名で担任の先生から名前を呼ばれた新入生は緊張しながらも、大きな声で返事をし、立ち上がってくれました。

学校長式辞では、中学校生活を大人として自立するための力をつける大切な3年間ととらえ、次の2点について話をしました。



まず、「自分で考え、進んで行動しよう。」です。これから始まる中学校生活では、与えられたことをやるだけでなく、自分にとって必要なことは何か、自分の学級や学年をもっと良くするために、自分は何ができるかを考え、行動しましょう。学校生活のあらゆる場面を、成長の場にしていきましょう。

次に、「思いやりのある人になろう。」です。私たちは、毎日の生活の中でたくさんの人と接していきます。そのときに、相手の気持ちを考える、まさに思いやることができるようになってもらいたいと思います。お互いの思いを大切にし、支え合うことが、過ごしやすい学級や学年、学校をつくり、さらには、自分も周りの人も力を発揮していける環境をつくることとなります。お互いが、支え合い、励まし合って、居心地のよい学級、学年をつくっていきましょう。

新入生代表生徒は、誓いの言葉の中で、これからの新しい生活に不安や緊張、うれしい気持ちを抱え、たくさんの方々に見守られながら、入学式を迎えた、と述べました。

さらに、何事にも真剣に一生懸命に取り組みたい、予習・復習を基本とし、先輩方や新しい仲間と共に協力し、高め合いながら将来の目標に向けて、充実した三年間を送りたい、との決意を発表しました。

顔をしっかりと上げ、力強く発表する姿をとおして、中学校生活への期待と決意が感じられました。

新学期の様子

4月8日（土）から、全学年がそろった学校生活が始まりました。自己紹介などの学級開きのほか、セーフティ教室でSNSやインターネットを使用する上でのルールやマナー、トラブルを起こさないための安心・安全な使用の知識や心構えを学びました。

牛乳パックがストローレスになります

今年度から給食の牛乳パックがストローを使わず、直接、牛乳パックから飲めるものに変更されます。